

長崎市の新しい文化施設（多目的ホール）への提言

令和3年6月3日

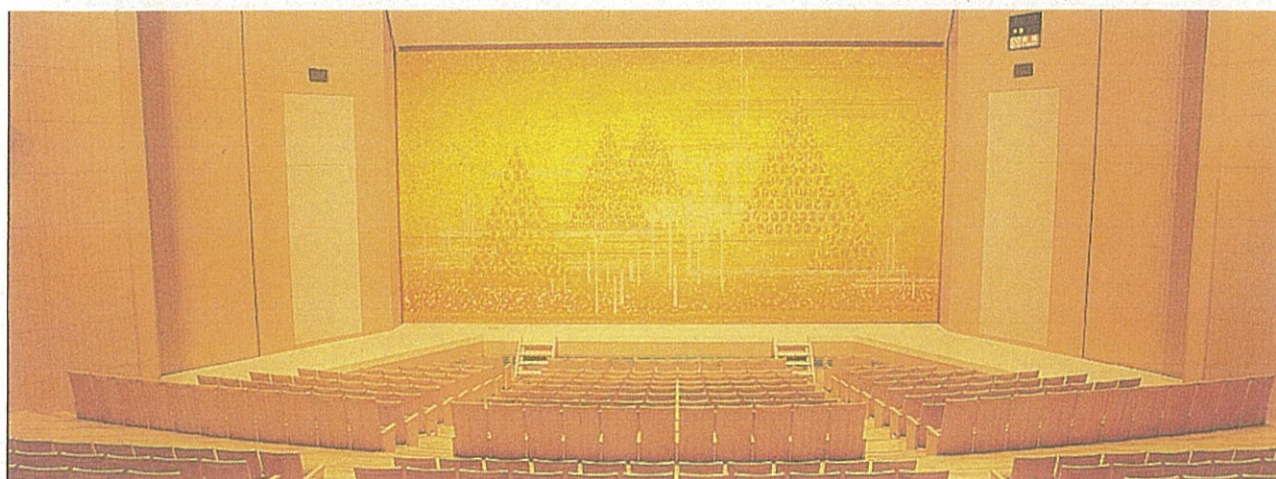
長崎市文化振興審議会委員

長崎いろは会 日本舞踊連盟役員 平田聖子（花柳 昌太女）

## 長崎市の新しい文化施設(多目的ホール)への提言です♪

新しいホールを考えるうえで、とても参考になるホールがあります。

それは・・・



**「ウェル戸畑(北九州市戸畑区市民会館)大ホール」**です!

回り舞台・大ゼリ・小ゼリ・スッポンゼリ・搬入ゼリ・可動音響反射板を備えたホールです。

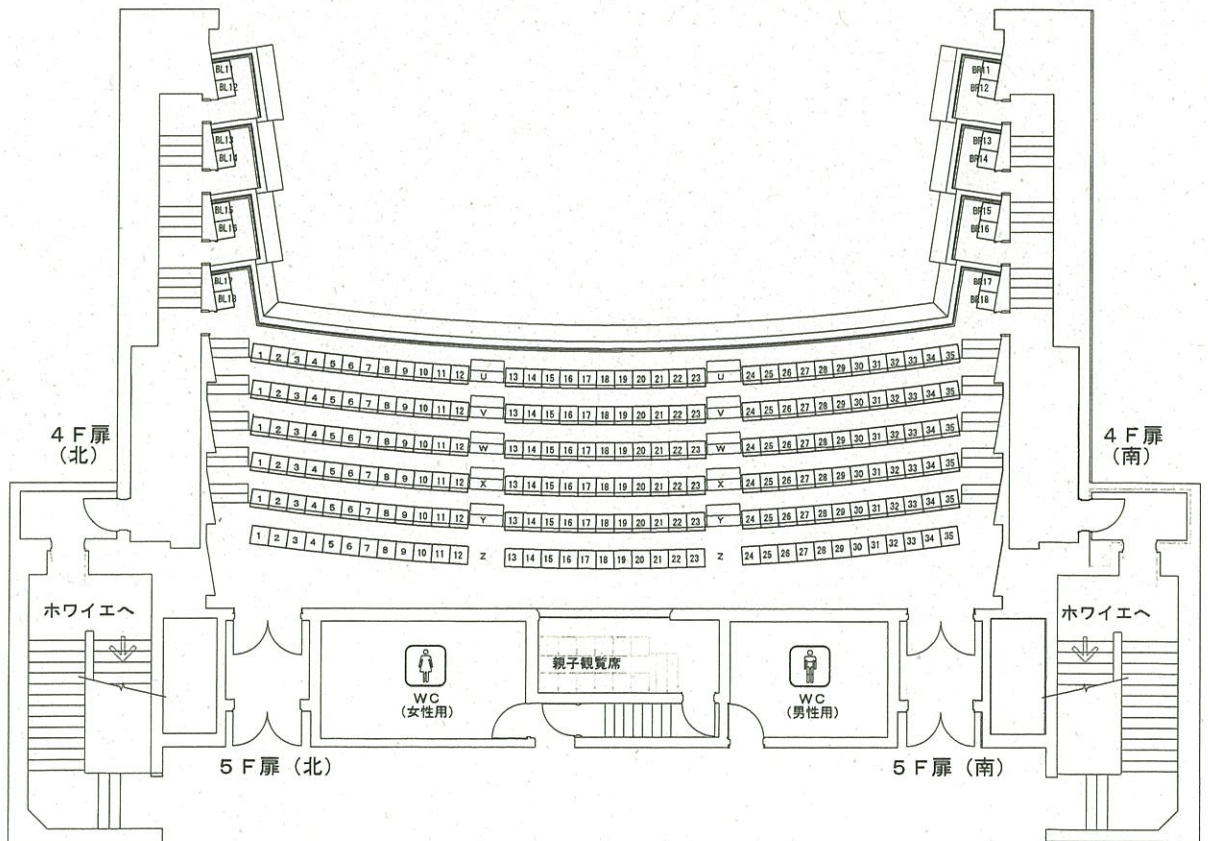
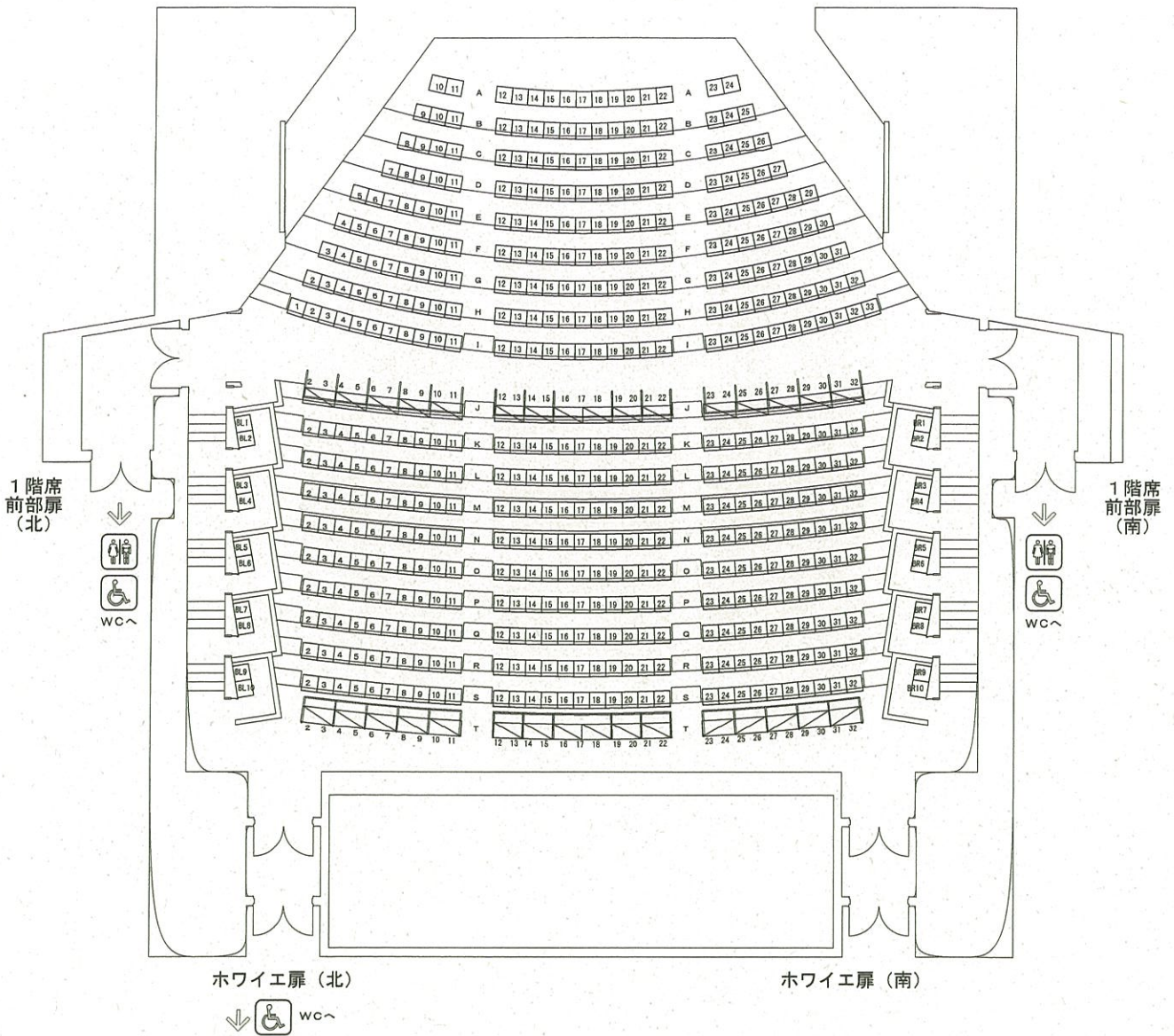
客席は800席で、親子席・車椅子席・難聴者用設備も備えています。

最新式の照明・音響装置を備えた理想的な大ホールですが、

今回は舞台と客席の設備に絞ってご紹介したいと思います。

**まずは舞台の平面図と、客席の平面図をご覧ください♪**





このホールは客席が 800 席で、大ホールと呼ぶにはいささかこじんまりとしたホールです。大ホールの平面図をご覧になればお解りいただけるように、間口が 10 間程のプロセニウム形式の舞台になっており、奥行きは 8 間程あります。舞台両脇には、長さが 3 間程のサイドステージが常設されています。

舞台には中央前面に「小ゼリ」があり、舞台奥には間口 4 間の「大ゼリ」があって、大ゼリは奈落から上がるだけでなく、舞台面からさらに 2m 程上昇させることができます。更に舞台には直径 7 間程の「回り舞台」があり、特筆すべきは下手サイドステージに「スッポンゼリ」があることです。「スッポンゼリ」は、九州ではとても珍しい設備です。

それでは各設備について、その役割と演出効果などを、順次ご説明させていただきます。

### 【小ゼリ】の役割とは？

「小ゼリ」は、出演者が舞台中央に板付きの状態の効果的に登場する為の設備ですが、セリ上げるだけでなくセリ下げることができるので、知恵を巡らせれば色々な設定で使うことが可能です。地底や海底に沈み込むような演出も面白いでしょう。もし回り舞台があれば、小ゼリを舞台の下手・上手・舞台奥に設置することで、更に新しい演出も可能でしょう。

### 【大ゼリ】の役割とは？

「大ゼリ」は、奈落から多人数の人達を舞台に押し上げるのに使う場合が多いようですが、大ゼリの上に立派な建物のセットを組んで、轟音と共にセリ下げること、**「屋台崩し」と**いう大掛かりな演出も容易になります。泉鏡花の**「天守物語」**では、大ゼリに大階段を設置して、主人公の若侍が天守に上がって来るシーンに使われています。また混声合唱団のような多人数での音楽会などで、舞台後方に二重屋台を組む場合、これまでは沢山の箱馬を置い

て、その上に何枚も平台を並べていましたが、大ゼリを数10cm押し上げるだけで、簡単に二重屋台を作ることができます。大ゼリを可能な限り高く押し上げて、回り舞台(もしもあればの話ですが)で少し上手に移動すれば、シェークスピアの「ロミオとジュリエット」の有名なバルコニーのシーンにも使えますし、中央に戻して前面に大階段を設置すれば、オペラの「トゥーランドット」の玉座を作ることにも可能です。

### 【回り舞台】の役割とは？

「回り舞台」は、舞台上に2~3シーンのセットを背中合わせに組んで、回すことで場面転換を容易にする為の設備ですが、例えば「市民合同音楽祭」などの催しで、次々と沢山の団体が出演する場合、舞台を中ホリ(または反響版)で横半分に区切って、舞台前面で演奏している間に裏側で次の出演者のスタンバイをしておいて、前面の演奏が終わって幕が降りたら、中ホリ(または反響版)を飛ばして舞台を半回しすれば、出演者の交代をスムーズに行うことができます。多人数の琴や大正琴の設置や、ピアノなどの大きな楽器の設置、ロックバンドのドラムス・アンプ・シンセサイザー等のスムーズな設置に役立ちます。群舞など多人数で演技しながら舞台を回すと、とてもダイナミックな演出ができますよ！

### 【スッポンゼリ】の役割とは？

花道(サイドステージ)の小さい「スッポンゼリ」は、歌舞伎や日本舞踊では「妖怪変化」の出没にのみ使う約束になっている設備ですが、現代劇や創作舞踊などではその約束事に捕らわれることなく、自由な発想で使うことが可能です。例えば演劇で、主人公の青年が昔の恋人を思い出すシーン等にも使えますし、足踏みをしながらスッポンを上げれば、地下室から上ってくる演出もできます。客席のすぐ傍にあるので、とてもインパクトがありますよ！

話は少し変わりますが、この素晴らしい「ウェル戸畑大ホール」にも、いくつか**残念な部分**があります。一つ目は**2階の客席の勾配がきつい**為、2階の後方からだと出演者の頭のテッペンしか見えないことです。ブリックホールもそうですよね。2つ目はサイドステージが短い上に、何故か**「スッポンゼリ」がサイドステージの中央にある**為、残念ながら歌舞伎や日本舞踊では使えないことです。花道のスッポンゼリは、舞台から30%、花道の出入口(鳥屋口)から70%の、いわゆる「七三」の位置にないといけないのですが、どうやら設計者がその約束事を知らなかったようです。これこそ本当の「宝の持ち腐れ」で、非常に残念です。しかし長崎の新しいホールの場合は、**きつとこのような残念な教訓を生かして**、「ウェル戸畑大ホール」の欠点が解消されることでしょう。

勿論ブリックホールや市民会館と同じく、所作台一式、松羽目一式、金屏風・銀屏風・鳥の子屏風一式、定式幕(引幕)、グランドピアノ等の基本的な設備も、常設してくださることを信じています。

**「必ず旧公会堂以上の劇場を作ります」というお約束を、  
長崎市民は決して忘れていませんから!**

最新式の反響板や立体的なサウンドを生み出す音響設備、  
観客を魅惑の世界に引き込むような画期的な照明設備など、  
文化都市の市民として誇りに思えるような素晴らしい劇場を、  
私達は大いに期待しています♪

長崎市在住 日本舞踊各流派師範 有志